

「ふれあいの里山」復活大作戦



日時	2015年12月5日(土) 9時00分～ 15時00分
場所	金ヶ崎公園
参加者	市民自然図鑑案内人(明石市内の学校の先生、他)/2名(午前のみ) エコウイング会員/5名、事務局/1名 計 8名

● 午前

このシーズンは暖冬の予報が出されていますが、さすがに12月に入ると吹く風も冷たさを感じます。今日は市民自然図鑑の案内人の先生2名のご参加をいただき、午前中は公園内のいつものコースを巡って市民図鑑の昆虫観察をしました。

曇りがちの天気でも気温も低いこともあって、残念ながら昆虫はあまり姿を見せてくれませんでした。観察できた昆虫は、カメムシのなかまや翅の傷んだチョウなどだけで、少々寂しい観察となりました。その中で、薄いベージュ色の小さなガが、雑木林をたくさん飛び回っていました。クロスジフユエダシャクというガのなかまのようです。

● 午後

午後は、公園の西側の斜面で小さな常緑樹や竹、下草などの下刈り作業をしました。先月(株)ライオンの皆様に整備していただいた作業の続きです。しばらく手入れをしていなかった場所で、かなりうっそうとしていましたが、作業を終えるとすっきりした姿に変わりました。

今日も、けがなどの事故もなく予定通りに活動を終え、定刻の午後3時ごろに帰途につきました。

ヤマボウシの実の下を観察に向かう参加メンバー



昆虫観察の様子(その2)



昆虫観察の様子(その1)



昆虫観察の様子(その3)



下刈り作業(その1)



下刈り作業(その2)



下刈り作業中の斜面の様子



左写真の場所の下刈り作業後の様子



作業終了後の参加メンバー集合写真



- 次回の活動は、来年1月9日(土)の朝9時からの予定です。いつもの第1土曜日は正月休み最中のため、第2土曜日の活動になります。午前中は市民自然図鑑の昆虫観察、午後は里山整備活動を予定しています。
たくさんの皆様のご参加をお待ちしています。

MORIさんとHIROYA君の自然観察日記(その1)

種類は少なかったのですが、今日の観察会で撮影した昆虫などを紹介します。前述のように、クロスジフユエダシャクというガがたくさん飛び回っていた以外は、ごく少数のチョウ、カメムシ、甲虫などのなかましか観察できませんでした。公園奥の水源池の土手では、落ち葉の下にたくさんの幼虫が固まってうごめいていました。少し気持ちの悪いながめでした。ニイニゼミと思われる抜け殻が、まだいくつも残っているのも見つけました。

クロスジフユエダシャク



翅が傷んだムラサキシジミ



クサギカメムシ



アオモンツノカメムシ



ヨコヅナサシガメ



ハエのなかま



ナミテントウ



ケバエの幼虫?



まだ残っていたニイニゼミの抜け殻



野鳥では、冬鳥のジョウビタキが姿を見せました。また、常連のコゲラやハクセキレイのほか、キセキレイや柿の実をついばむメジロも観察しました。ふもとの北浦池では、バン、オオバン、マガモなどの冬の水鳥が泳いでいました。

ジョウビタキ(メス)



コゲラ



MORIさんとHIROYA君の自然観察日記(その2)

ハクセキレイ



キセキレイ



柿の実をついばむメジロ



バン



オオバン



マガモ



植物では、目立った野草などの花は咲いていませんでしたが、平年より遅れてようやくイロハカエデの紅葉が始まっていました。キノコのなかまでは、ホコリタケを観察しました。

色づき始めたイロハカエデ



カエデの葉



ホコリタケ

